

14.看護学部ニュースレターの発行

看護学部では、平成23年度から、看護学部学生生活通信『fure-fure』を年2回、保護者に向けて発行している。『fure-fure』という名称には、学生を応援する気持ちと、学生が誰かを応援できるようになる願いが込められている。学生一人ひとりの学びの過程を教員が見守り、個性を尊重した教育を大切に、人と人とのつながりを大切にす校風の中で、学生が力強く歩んでいる姿、エネルギー溢れる学生生活を伝えている。

令和4年度は7月に第23号、2月に第24号を発行した。第23号では、研究科長の畦地博子先生より「看護学研究科について」と題し、数年前から開始した学内推薦卒などについて紹介があった。第3回日本看護シミュレーションラーニング学会学術集会で大会長を務めた大川宜容先生からは、「看護シミュレーション教育の挑戦」というテーマで令和4年2月にオンラインによる学術集会が開催され、新しい時代の看護学教育に向けて、ICTやAIを活用した様々な教育の実践報告や、学際的・国際的な企画が行われた旨の報告があった。各学年担当からは、感染対策を講じて講義や演習、実習が行われるなかで、学生は他の学生や地域の人々とも交流を重ね、学習者としての態度、知識や技術の修得に取り組んでいる様子が紹介された。

第24号では、この3月にご退職される野嶋佐由美学長より、学部生への応援メッセージをいただいた。続いて、日本災害看護学会年第24回年次大会の大会長を務めた竹崎久美子先生より、「今、改めて準備期の災害看護を考える - 住み続けられるしくみづくりのために - 」というテーマで令和4年9月にオンラインによる学術集会が開催され、新型コロナウイルス感染症の対応、南海トラフ巨大地震に向けた取り組み、交流集会等が行われた旨の報告があった。各学年担当からは、自身の健康管理に努めながら学内外の課外活動に取り組んでいる様子や、地域課題に対して主体的に取り組んでいる様子、実習を積み重ねるなかで人間に対する理解を深めると同時に、科学的思考や問題解決能力を修得してきている様子が紹介された。

学生生活通信『fure-fure』の最後のページには、連絡先(メールアドレス)を掲載し、保護者の皆様からご意見や感想をいただく窓口を設置している。これまで保護者より意見が寄せられたことはないが、今後も、看護学部 Facebook など複数の媒体を通して発信し、伝えていきたい。